

# (福) さくらゆき

岐南町・福祉

従業員数 / 男性44名 女性140名 計184名 ※令和6年11月現在

エクセレント  
POINT

- ①職員が主体となりダイバーシティを実現
- ②仲間同士の絆でやりがいと働きやすい環境を整備
- ③新たなステージに挑戦する職員を支援

## 働きやすさと働きがいは職員の団結力から

医療・福祉



新卒で入社後、2回の産休・育休を経て復帰。現在は新たなステージへのキャリアアップと育児の両立をしている。



機能訓練指導員として専門職で働きながら積極的に育児に参加している。「産後パパ育児のおかげでゆとりをもって子と向き合うことができた。今後の仕事のモチベーションアップにつながった」と話す。

高齢・障害・児童と幅広く福祉事業を運営している社会福祉法人さくらゆき。設立当初より職員の主体性を重視してきたが、施設が増え職員も大幅に増員した今では「より輝きながら働くことが出来る環境」を職員同士の協力で実現させている。

新たな取組みとして、多様な人材が互いの魅力を活かしながら能力を発揮できる職場を目指し、互いを理解し合う場を作り、自然とフォローができる環境作りに取り組んでいる。ハンドボールの選手兼監督として活躍しながら働く職員が大会に出場する際には、必要な時に休みが取れるようサポートし協力している。

仕事と育児の両立支援や職員のキャリアアップ支援にも力を入れており、出産をした職員の職場復帰

率は100%を維持。職員専用の託児ルームを完備し、育児と両立がしやすくなるよう配慮している。新卒で入社した職員は2度の産休・育休を経て、託児の利用と勤務時間の見直しを行い、無理なく職場に復帰した。復帰後には職場のバックアップを受けながらキャリアアップを目指し、新たな資格を取得。今後は目標としていたサービスマネジメントとして新たなステージに挑戦する予定だ。

また、男性の育児休暇取得も推進しており、2児の父となった職員は、「以前の職場では、育児が取れず積極的に育児に参加できず妻に任せてしまったが、まだ幼い長女もいるため今回は産後パパ育児を申し出たところ快諾してくれ、祝福してくれた。みんなの協力と法人の理解のおかげでかけがえのない

時間家族で過ごすことができ、心から感謝している」と語る。

外国人材の採用も積極的に進めており、来日して勤務することになった外国人職員に対しては、職員から引越しの手伝いの申出や生活用品・家具家電の寄付が集まり、新たな生活を頑張る仲間を応援し合う温かい環境となっている。



外国人職員の採用と育成にも力を入れる。ベテランの職員が講師となって勉強会を行い、親睦の場ともなっている。

とした外国人職員チームも発足し、日本人職員が講師となり日本語や日本文化、介護技術を学ぶ交流の場を設けている。外国人職員は「新しい生活に不安があったが温かく歓迎してくれ嬉しい。仲間の員として頑張っていきたい」と笑顔で話し、先輩職員たちは「みんな笑顔で入居者からも喜ばれている。前向きで真面目に業務を覚えてくれるためとても助かっている」と信頼関係が築かれている。